

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果について（美祢市）

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果についてお知らせします。

1 調査の概要

（1）目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

（2）調査期日 令和5年4月18日（火）

（3）調査を実施した校数・児童生徒数

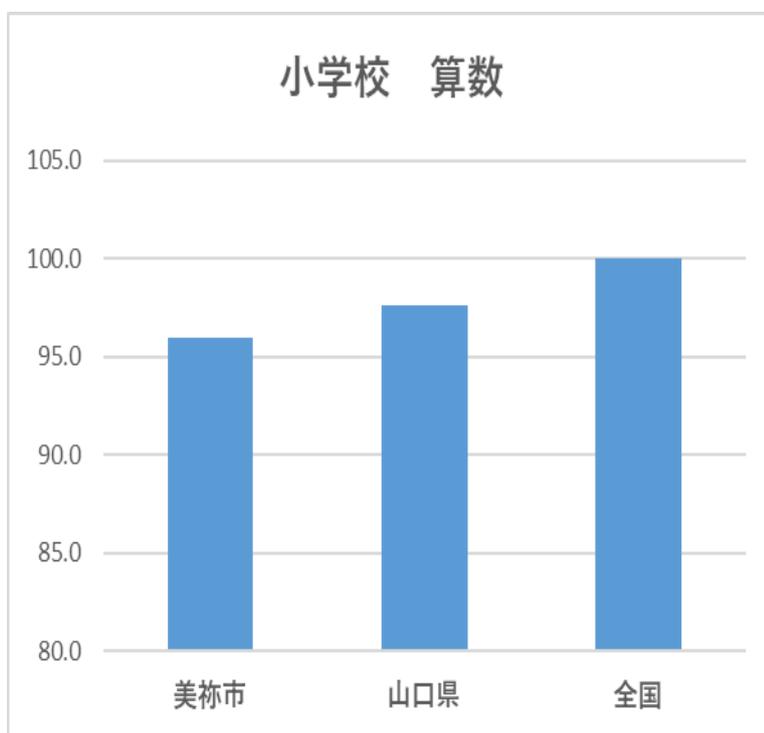
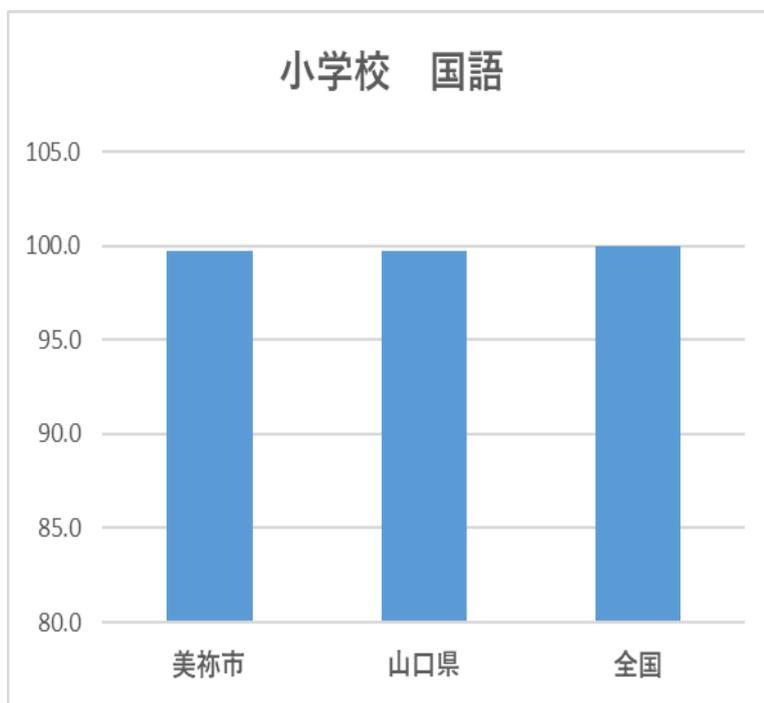
学年	学校数	児童生徒数
小学校第6学年	11校	児童数 152人
中学校第3学年	5校	生徒数 143人

2 美祢市の結果

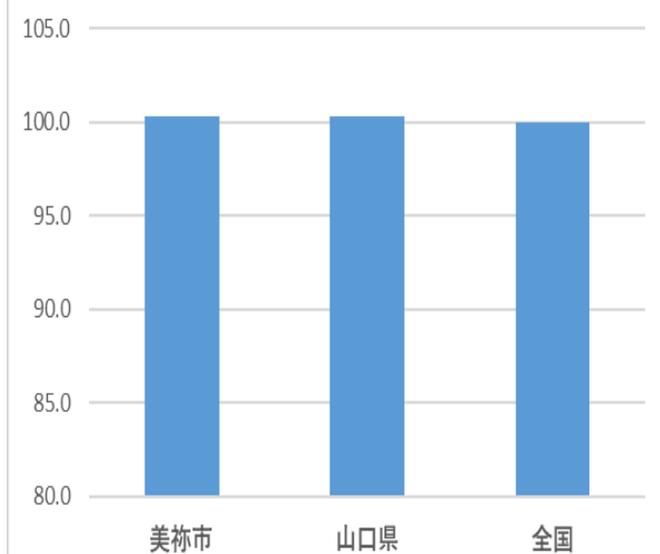
（1）教科に関する結果

	小学校		中学校		
	国語	算数	国語	数学	英語
美祢市	67	60	70	47	39
山口県	67	61	70	52	44
全国	67.2	62.5	69.8	51.0	45.6

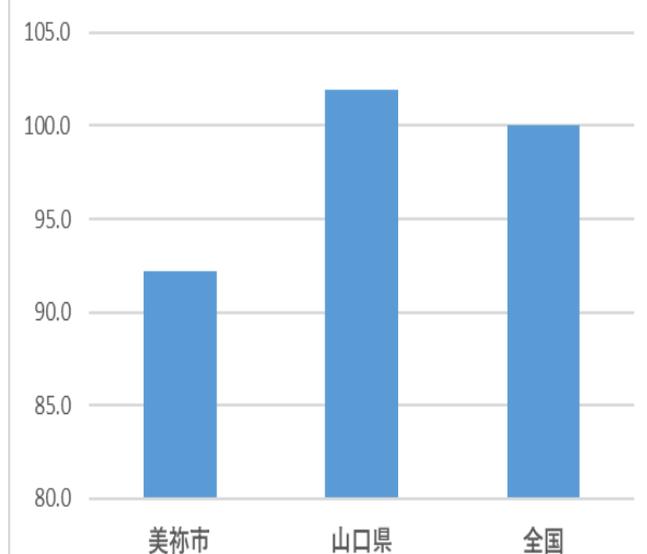
下のグラフは、令和5年度における全国平均正答率を100としたときの美祢市と県平均の割合を示したものである。



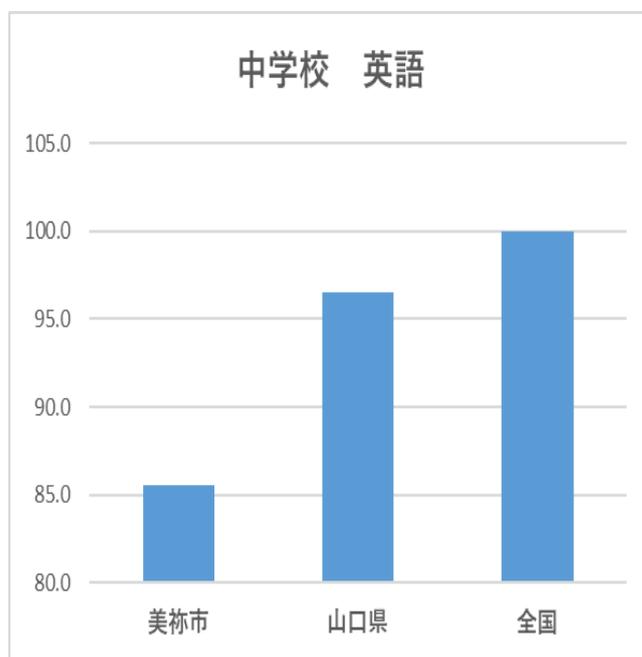
中学校 国語



中学校 数学



中学校 英語



【教科の出題の具体より (() は県平均との差)】

小学校
国語

- ◎ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる (+6.9%)
- ◎ 目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる (6.8%)
- △ 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができる (-6.3%)

小学校
算数

- ◎ 正方形の意味や性質について理解している (+4.3%)
- △ (2位数) ÷ (1位数) の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を考えることができる (-7.4%)
- △ 百分率で表された割合について理解している (-8.4%)

中学校
国語

- ◎ 文脈に即して漢字を正しく書く (+7.1%)
- ◎ 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことができるかどうかをみる (+5.7%)
- △ 観点を明確にして文章を比較し、表現の効果について考えることができる (-5.3%)
- △ 古典の原文と現代語の文章とを対応させて内容を捉えることができる (-11.9%)

中学校
数学

- ◎ 四分位範囲の意味を理解している (+2.9%)
- △ 事象を理想化・単純化することで表された直線のグラフを、事象に即して解釈することができるかどうかをみる (-5.6%)
- △ 空間における平面が同一直線上にない3点で決定されることを理解しているかどうかをみる (-5.8%)
- △ 与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができる (-7.3%)
- △ ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができる (-12.0%)

中学校
英語

- ◎ 情報を正確に聞き取ることができる (+3.1%)
- △ 日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる (-7.5%)
- △ 「相手の行動を促す」という言語の働きを理解し、依頼する表現を正確に書くことができる (-9.7%)
- △ 情報を正確に読み取ることができる (-9.7%)
- △ 未来表現 (be going to) の肯定文を正確に書くことができる (-11.4%)

小学校
国語

◎ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる (+6.9%)

【資料3】相田さんが書きこみをしたパンフレットのページ

栄養素の働き

規則正しく食事をとることにし、脳が活発に働いたり、**元気に運動**したりすることができます。ただし、同じものや好きなものばかり食べていると、栄養がたまってしまい、つかれやすくなったりいらしたりします。

食品は、栄養素の主な働きによって、下のようになり、三つのグループに分けることができます。

米やパンなどは、主に**エネルギーのもと**になります。
肉や卵などは、主に**体をつくるもと**になります。
筋肉がついたり、けがが治りやすくなったりします。
野菜や果物などは、主に**体の調子を整えるもと**になり、**病気がかかりにくく**なります。

(栄養素の主な働きと食品の例)

主にエネルギーのもとになる
米、パン、バターなど

主に体をつくるもとになる
肉、卵、牛乳など

主に体の調子を整えるもとになる
野菜、果物など

【資料2】運動について書かれたパンフレットのページ

運動で健康な体をつくらう!

運動には、筋力や持久力を高めるほかに、病気の抵抗力を高める効果もあります。また、運動によって気持ちリフレッシュするなどの効果もあります。

どんな運動をするといの？

運動をする際、自分に合った運動を選んで行うことが大切です。主な運動の種類には、下のようになり、軽いジョギングなどの持久力を高める運動や、腹筋運動などの筋力を高める運動があります。そのほかにも、体のやわらかさを高める運動や、たくみな動きを高める運動などがあります。

このような運動は日常生活の中にもあります。例えば、休みの日の外遊び、犬の散歩、階段の上り下り、荷物運びなどです。日常生活の中で体を動かす機会をつくるのが効果的です。

主に持久力を高める運動の例
軽いジョギング 縄とび(続けてとぶ)

主に筋力を高める運動の例
腹筋運動 腕立て伏せ

運動は、体方の向上につながります。そのため、子供からお年寄りまで適度に運動をすることが大切だとされています。

私たちが日々行っている運動には、いくつかの種類があります。例えば、体たくさんの筋力を取り入れながら続けることで持久力を高める運動や、瞬間的に大きな力を出すことで筋力の方を高める運動などです。

生活の中に自分が好きな運動を取り入れれば、続けて取り組むことができます。その際は、目的に応じた運動を選ぶとともに、健康状態や体力に合わせて自分のペースで行うことが大切です。

【資料1】運動について書かれた本の一部

運動は、体方の向上につながります。そのため、子供からお年寄りまで適度に運動をすることが大切だとされています。
私たちが日々行っている運動には、いくつかの種類があります。例えば、体たくさんの筋力を取り入れながら続けることで持久力を高める運動や、瞬間的に大きな力を出すことで筋力の方を高める運動などです。
生活の中に自分が好きな運動を取り入れれば、続けて取り組むことができます。その際は、目的に応じた運動を選ぶとともに、健康状態や体力に合わせて自分のペースで行うことが大切です。

相田さんは、「資料1」、「資料2」、「資料3」を読み、運動と食事について分かったことをもとに、これから自分ができそうなことを考えてまとめるようにしています。あなたなら、どのようにまとめるか。その内容を次の条件に合わせて書きましょう。

(条件)

- 資料を読んで、運動と食事の両方について分かったことを書くこと。
- 分かったことをもとに、これから自分ができそうなことを書くこと。
- 八十文字以上、百字以内にとめて書くこと。

※左の縦横用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。★の印から書きましょう。どのように行を覚えていって、続けて書きましょう。

◎ 目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる (6.8%)

谷さんの考え

学校ボランティアの中で、登下校でお世話になっている見守りボランティアの方は、毎朝早くから大変です。どうして続けているのだから、私の通学路に立ってくださっていい。寺田さんと山本さんにインタビューをして、お二人の思いを聞いてみよう。

寺田さん
お二人は、毎朝七時半から活動されているそうですね。大変ではありませんか。

山本さん
確かに朝早いのは大変です。でも、私は、子供たちに安全に登下校をしてほしいと思っています。

寺田さん
私は、最近この地域に住むようになり、見守りボランティアを始めました。慣れないうちは大変でしたが、今では元気をもらっています。

谷さん
そうですね。元気をもらっているということについては、もう少し詳しく教えてください。

山本さん
子供たちから、「いつも見守ってくれてありがとうございます」と声をかけてもらうことがあり、そんなときは元気が出てきます。町で出会った保護者の方が「いつもありがとうございます」と言ってくれたことも、やりがいを感じています。

谷さん
やりがいというのは、ボランティアをやっていてよかったということだと思いますが、合っていますか。

山本さん
はい、そのとおりです。ボランティアをやって本意に上かっと思っていました。子供たちの安全を守るために、役に立っていると感じられるので、大変さよりもやりがいのほうが大きいんです。

寺田さん
なるほど、そうですね。

寺田さん
私も子供たちが安全に登下校している様子を見ることができ、やりがいを感ずいます。子供たちのすてきな姿を見たときには、さらにうれしい気持ちになります。ボランティアをやってよかったと思います。

谷さん
すてきな姿というのは、どのような姿ですか。

寺田さん
一人で下校する友達に声をかけている姿や、上級生が下級生の手を引いて歩いている姿などです。そんな姿を見ると、とてもうれしく気持ちになります。

谷さん
そんなふうには、見守りボランティアの仕事を大変なことばかりだと思っていましたが、はじめは、見守りボランティアの仕事を大変なことばかりだと思っていましたが、全校のみんなに伝えたいです。ありがとうございます。

「インタビューの様子」

谷さん
こんにちは。いつも私たちの登下校を見守ってくれてありがとうございます。今日は、お二人からお話を聞きたいので、どうぞよろしくお願ひします。お二人は、毎朝七時半から活動されているそうですね。大変ではありませんか。

寺田さん
確かに朝早いのは大変です。でも、私は、子供たちに安全に登下校をしてほしいと思っています。

山本さん
私は、最近この地域に住むようになり、見守りボランティアを始めました。慣れないうちは大変でしたが、今では元気をもらっています。

谷さん
そうですね。元気をもらっているということについては、もう少し詳しく教えてください。

山本さん
子供たちから、「いつも見守ってくれてありがとうございます」と声をかけてもらうことがあり、そんなときは元気が出てきます。町で出会った保護者の方が「いつもありがとうございます」と言ってくれたことも、やりがいを感じています。

谷さん
やりがいというのは、ボランティアをやっていてよかったということだと思いますが、合っていますか。

山本さん
はい、そのとおりです。ボランティアをやって本意に上かっと思っていました。子供たちの安全を守るために、役に立っていると感じられるので、大変さよりもやりがいのほうが大きいんです。

寺田さん
なるほど、そうですね。

寺田さん
私も子供たちが安全に登下校している様子を見ることができ、やりがいを感ずいます。子供たちのすてきな姿を見たときには、さらにうれしい気持ちになります。ボランティアをやってよかったと思います。

谷さん
すてきな姿というのは、どのような姿ですか。

寺田さん
一人で下校する友達に声をかけている姿や、上級生が下級生の手を引いて歩いている姿などです。そんな姿を見ると、とてもうれしく気持ちになります。

谷さん
そんなふうには、見守りボランティアの仕事を大変なことばかりだと思っていましたが、はじめは、見守りボランティアの仕事を大変なことばかりだと思っていましたが、全校のみんなに伝えたいです。ありがとうございます。

【資料1】谷さんの考え

谷さんは、寺田さんと山本さんの二人が、どのような思いでボランティアを続けているのかについて、分かったことを「インタビューの様子」の□で話そうとしています。あなたが谷さんなら、どのように話しますか。次の条件に合わせて書きましょう。
寺田さんと山本さんの二人が、どのような思いでボランティアを続けているのかについて、分かったことを書くこと。
「インタビューの様子」の、寺田さんと山本さんの発言の中から言葉や文を取り上げて書くこと。
書き出しの言葉に続けて、四十文字以上、六十文字以内にとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は、字数にはふくまれない。

谷さんは、寺田さんと山本さんの二人が、どのような思いでボランティアを続けているのかについて、分かったことを「インタビューの様子」の□で話そうとしています。あなたが谷さんなら、どのように話しますか。次の条件に合わせて書きましょう。

(条件)

- 寺田さんと山本さんの二人が、どのような思いでボランティアを続けているのかについて、分かったことを書くこと。
- 「インタビューの様子」の、寺田さんと山本さんの発言の中から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 書き出しの言葉に続けて、四十文字以上、六十文字以内にとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は、字数にはふくまれない。

※左の縦横用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。★の印から書きましょう。どのように行を覚えていって、続けて書きましょう。

△ 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができる (-6.3%)

【資料2】運動について書かれたパンフレットのページ

運動で健康な体をつくらう！

運動には、筋力や持久力などを高めるほかに、病気の抵抗力を高める効果もあります。また、運動によって気持ちがりフレッシュするなどの効果もあります。

どんな運動をするの？

運動をする際、自分に合った運動を選んで行うことが大切です。主な運動の種類には、下のように、軽いジョギングなどの持久力を高める運動や、腹筋運動などの筋力を高める運動があります。そのほかにも、体のやわらかさを高める運動や、たくみな動きを高める運動などがあります。

このような運動は日常生活の中にもあります。例えば、休みの日の外遊び、犬の散歩、階段の上り下り、荷物運びなどです。日常生活の中で体を動かす機会をつくると効果的です。

主に持久力を高める運動の例 **主に筋力を高める運動の例**

軽いジョギング 縄とび(続けてとぶ) 腹筋運動 腕立て伏せ

【資料1】運動について書かれた本の一部

運動は、体力の向上につながります。そのため、子供からお年寄りまで過度に運動をすることが大切だと書かれています。私たちが日々行っている運動には、いくつかの種類があります。例えば、体にたくさんの筋力を取り入れながら続けることで持久力を高める運動や、瞬間的に大きな力を出すことで筋肉の力を高める運動などです。

生活の中に自分が好きな運動を取り入れれば、続けて取り組むことができます。その際は、目的に応じた運動を選ぶとともに、健康状態や体力に合わせて自分のペースで行うことが大切です。

【相田さんのメモ】

◇持久力を高める運動
 ・たくさんの筋力を取り入れながら続ける
 ・軽いジョギング
 ・縄とび(続けてとぶ)

◇体をやわらかさを高める運動
 ・しゅん間的に大きな力を出す
 ・うで立てふせ
 ・縄とび(続けてとぶ)

◇筋肉力を高める運動
 ・しゅん間的に大きな力を出す
 ・ふっさん運動
 ・うで立てふせ

◇みんなの筋力を取り入れながら続ける
 ・ふっさん運動
 ・うで立てふせ

ア

二 相田さんは、「資料1」と「資料2」を読んで分かったことをメモにまとめています。次の「相田さんのメモ」の「ア」に当てはまる内容として最も適切なものを、下の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

成果・課題の分析

- 自分の考えをまとめる条件作文については、高い正答率となっています。これは、学級会等でのフリートークの成果であると考えられます。また、総合的な学習の時間においても、子どもが自分で考えをまとめ、地域に発信する学習を進めていることも学習の成果として表れていくことが考えられます。
- 目的に応じて、文章の中から必要な情報を取捨選択したり、整理したり、再構成したりすることに課題があります。授業においても、必要な情報のみを与えるのではなく、多くの情報の中から、整理分析する学習を教科横断的に行っていく必要があります。

◎ 正方形の意味や性質について理解している (+4.3%)

(2) えいたさんたちは、テープの上の直線に垂直な直線^アで切って、四角形をつくります。

まず、えいたさんは、下のようにつくり方で四角形をつくりました。

【えいたさんのつくり方】

① 上の直線に垂直な直線ア ^ア で切ります。	
② 点ウの印を右の図のようにつけます。	
③ 点ウを通して、上の直線に垂直な直線ウエ ^ウ で切ると、四角形アイエウ ^エ ができました。	



上のつくり方でできた四角形アイエウは、4つの角がすべて直角になっているから、長方形ですね。

次に、ゆいなさんは、下のようにつくり方で四角形をつくりました。

【ゆいなさんのつくり方】

① 上の直線に垂直な直線オカ ^オ で切ります。	
② 右の図のように、直線オカが上の直線に重なるように折り、点カが重なったところを点キとし、印をつけます。	
③ 折ったものをもとします。	
④ 点キを通して、上の直線に垂直な直線キク ^キ で切ると、四角形オカクキ ^ク ができました。	

上のつくり方でできた四角形オカクキは、どのような四角形ですか。その四角形の名前を書きましょう。

△ (2位数) ÷ (1位数) の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を考えることができる (-7.4%)

(4) けんたさんは、 $66 \div 3$ の筆算について、次のように図を使ってふり返りました。

【 $66 \div 3$ の筆算】	【けんたさんの説明】
手順1 	10を⑩、1を①で表して、60について考えます。
手順2 	
手順3 	6について考えます。
手順4 	
手順5 	

【けんたさんの説明】をもとにすると、 $66 \div 3$ の計算を、下のよう考えることもできます。

$$\begin{aligned}
 66 \div 3 &= (60 + 6) \div 3 \\
 &= \overset{\text{あ}}{60} \div 3 + \overset{\text{い}}{6} \div 3 \\
 &= \overset{\text{え}}{20} + 2 \\
 &= 22
 \end{aligned}$$

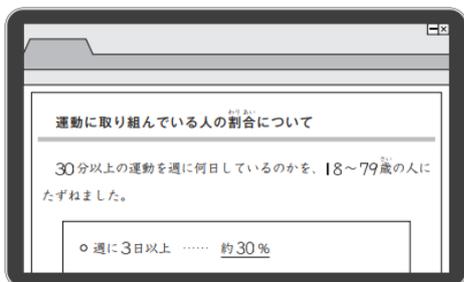
【 $66 \div 3$ の筆算】の手順2で十の位にたてた「2」は、上の式のあ、い、えのどの計算をした結果を表していますか。1つ選んで、その記号を書きましょう。

手順2

△ 百分率で表された割合について理解している (-8.4%)

4

あいかさんは、毎日を健康に過ごすためには、運動、食事、休養・すいみんが必要であることを学習しました。そこで、インターネットで運動について調べると、下のような記事を見つけました。



 ^{かりあい}1日に30分以上の運動を、週に3日以上している人の割合は約30%なのですね。

(1) 30%について考えます。割合が30%になるものを、下のアからオまでの中から2つ選んで、その記号を書きましょう。

- ア 100人をもとにした0.3人の割合
- イ 100人をもとにした3人の割合
- ウ 100人をもとにした30人の割合
- エ 10人をもとにした3人の割合
- オ 30人をもとにした1人の割合

成果・課題の分析

- 「算数の勉強が好き」という生徒質問紙の項目において、大きな上昇がみられ（児童生徒質問紙結果 参照）、意欲の向上に伴い、知識・技能の習得に大きな成果がありました。今後も子どもの主体性を大切にし、子どもが演習の中での気づきを大切にする子ども主体の授業づくりを進めていきたいと思えます。
- 図形の性質についての理解は、高い理解度を有しています。操作を基にした理解を大切にしている成果であると思えます。中学校においては、図形の理解を論理的に説明できないといけないことから、中学校との学びの連続を意識した授業を進めていく必要があります。また、算数においては、日常生活と密接に関わりあっている内容がたくさんあります。生活の場面で、算数で学習した考え方を活用しなければならない例題を取り扱うことで算数を学ぶ意味を実感することを通して、学ぶ意欲の更なる向上と学習内容の定着を図っていきます。
- わり算の筆算や割合の意味理解についても、大きな課題があります。単純な操作として計算を行うだけではなく、筆算においては、計算の工夫を考えさせることや割合においては、日常生活と関連させた課題設定を行っていただきたいと思えます。

◎ 文脈に即して漢字を正しく書く (+7.1%)

二 ―― 線部のひらがなを漢字に直し、**楷書**でいねいに書きなさい。

山田 光一
「判じ絵」について

1. はじめに
学校図書館の本で、「判じ絵」というものがあることを知った。「判じ絵」には具体的にどのようなものがあるのか、また、「判じ絵」がいつ生まれ、どのように現代に伝わったのかに興味をもた、詳しく調べることにした。

2. 調査方法
学校図書館、地域の図書館、インターネットで情報を集めた。

3. 調査結果

■「判じ絵」とは何か
「判じ絵」とは、描かれている絵や記号などが何を意味しているかを解読して楽しむものである。
(ア) ただし、【図1】のように、描かれているもの【図1】ザルと意味しているものが異なるため、解読する際には、「判じる」こと、つまり、知っていることをもとに「おしるって考える」が必要になる。(イ) 言ってみれば、なぜなぞやクイズのようなものなのである。(ウ) また、「判じ絵」の起源を調べたところ、平安時代後期から行われていた「ことば遊び」だと考えられていることが分かった。(エ) そして、江戸時代に庶民の間に広まる中で様々なものが生まれ、浮世絵ともつながりの深い文化として定着していったという。(オ) さらに明治に時代が移っても、人々の娯楽として親しまれ、現代でも雑誌の挿絵やテレビのクイズ番組などで見るることができる。

■「判じ絵」の解読の面白さ
「判じ絵」の解読の仕方について、具体的に例を挙げて説明する。



【図2】は、鈴の絵に目が描かれている。描かれているものを組み合わせて解読すると、鳥の「スズメ」という意味になる。

【図2】スズメ

【図3】は、

【図3】

【図3】は、

三 ③ 山田さんは、国語の時間に、「言葉に関しても興味をもったことをレポートにまとめています。次は、山田さんが書いているレポートの「書きの二部」です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

【書きの二部】

◎ 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことができるかどうかをみる (+5.7%)

一 原文の「線部『いひける』」を現代仮名遣いに直し、全でひらがなで書きなさい。

【原 文】

（星新）「竹取物語」による（）

（星新）「竹取物語」による（）

（星新）「竹取物語」による（）

④ 石井さんは、国語の時間に、「竹取物語」を読みました。そのあと、学校図書館で、現代語で書かれた「竹取物語」を見付け、読み比べてみました。次は、「授業で読んだ『竹取物語』の二部」の原文とその（現代語訳）、学校図書館で見付けた「竹取物語」の二部です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

【授業で読んだ「竹取物語」の二部】

（原文）

今は昔、竹取の翁といふものありけり。野山にまじりて竹を取りつゝ、よろづのことに使ひけり。名をば、さぬきの翁となむいひける。その竹の中に、もと光る竹なむ一筋ありける。あやしがりて、寄りて見ると、筒の中光りたり。それを見れば、三寸ばかりなる人、いとつくつくしてあたり。

現代語訳

今ではもう昔のことだが、竹取の翁という者がいた。野山に分け入って竹を取つては、いろいろなことに使っていた。名前は、さぬきのみやつこといった。その竹の中に、根もとの光る竹が一本あった。不思議に思つて、近寄つて見ると、筒の中が光っている。それを見ると、三寸ほどの人が、とてもかわいらしい様子で座っている。

△ 観点を明確にして文章を比較し、表現の効果について考えることができる (-5.3%)

△ 古典の原文と現代語の文章とを対応させて内容を捉えることができる (-11.9%)

- 2 中山さんは、本の読み方について考えるために、「A」と「B」の文章を読んでいます。これを読んで、あとの問いに答えなさい。
- 【A】
岸見一郎「本をどう読むか」による。
- 【B】
小林秀雄「読書について」による。
- 二 【A】と【B】の文章に共通している表現の効果を示したものと、最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。
- 主張に関わる言葉を引用することで、伝えたいことを印象付けている。
 - 敬体でいていない述べることで、伝えたいことを身近に感じさせている。
 - 問いかけを用いることで、伝えたいことに興味を持たせている。
 - 冒頭の一文に結論を示すことで、伝えたいことを明確にしている。

4 石井さんは、国語の時間に、「竹取物語」を読みました。そのあと、学校図書館で、現代語で書かれた「竹取物語」を見付け、読み比べてみました。次は、「授業で読んだ「竹取物語」の一部の原文」とその「現代語訳、学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部」です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

【授業で読んだ「竹取物語」の一部】

（原文）
今は昔、竹取の翁といふものありけり。野山にまじりて竹を取りつゝ、よろづのことに使ひけり。名をば、さぬきの翁となむいひける。その竹の中に、もと光る竹なむ「筋ありける。あやしがりて、寄りて見るに、筋の中光りたり。それを見れば、三寸ばかりなる人、いとつくつくしうてゐたり。

現代語訳

今ではもう昔のことだが、竹取の翁という者がいた。野山に分け入つて竹を取つては、いろいろなことに使つていた。名前は、さぬきのみやつこといった。その竹の中に、根もとの光る竹が一本あった。不思議に思つて、近寄つて見ると、筋の中が光つている。それを見ると、三寸ほどの人が、とてもかわいらしい様子で座つてゐる。

【学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部】

（岸見一郎）「竹取物語」による。

（小林秀雄）「竹取物語」による。

（岸見一郎）「竹取物語」による。

二 ①原文の「筋の中」に対して「現代語訳」と「学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部」からそれぞれ抜き出しなさい。

成果・課題の分析

- 「国語の勉強が好き」という生徒質問紙の項目において、大きな上昇がみられ（児童生徒質問紙結果 参照）。意欲の向上に伴い、知識の習得に大きな成果がありました。今後も子どもの主体性を大切にしたい子どもが主体の授業づくりを継続的に進めていきたいと思ひます。
- 漢字や語句などの知識面の力については引き続き課題が見られます。国語の学びを様々な教科や総合的な学習の時間で関連付けて活用していき、表現力の向上を図っていく必要があります。
- 自分の思ひをわかりやすく伝えることは、子供たちが社会に出て他者と協働するために必要な力です。地域の方々や小学生等と触れ合い、共に活動する場面を通して、自分の思ひを表現させる活動を積極的に行ひ、自分の思ひを正しく伝えられる体験を充実させていきたいと思ひます。

中学校 数学

◎ 四分位範囲の意味を理解している (+2.9%)

7 イチョウの木の大部分の葉が黄色に変わった最初の日を黄葉日^{きようようび}といいます。一花さんと啓太さんは、黄葉日が以前と比べるとだんだん遅くなってきている傾向にあることをニュースで知り、二人が住む地域も同じ傾向にあるのが気になりました。そこで、二人が住む地域の黄葉日を調べたところ、1961年から2020年までの60年分の記録がありました。

二人は、黄葉日の傾向を調べるために、各年の黄葉日を9月30日からの経過日数で表すことにしました。このとき、経過日数は10月1日が1日となり、10月31日は31日、11月1日は32日となります。

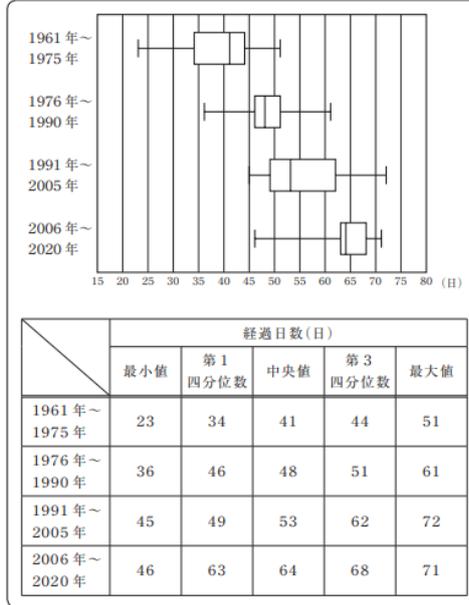
そして、二人は次のような表にまとめました。

年	黄葉日	経過日数(日)
1961	10月23日	23
1962	11月10日	41
1963	11月10日	41
1964	11月13日	44
1965	11月12日	43
⋮	⋮	⋮
2019	12月10日	71
2020	12月4日	65

二人は、上の表を見て、経過日数が年によって大きくなったり小さくなったりしていることに気づきました。そこで、60年分の経過日数を何年かごとのまとまりで分けて箱ひげ図で表し、それぞれの分布の傾向を比較することにしました。

次のページの黄葉日までの経過日数の分布は、15年ごとのまとまりとして1961年～1975年、1976年～1990年、1991年～2005年、2006年～2020年の4つに分けてまとめたものです。

黄葉日までの経過日数の分布



次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

- (1) 1961年～1975年の四分位範囲を求めなさい。

△ 事象を理想化・単純化することで表された直線のグラフを、事象に即して解釈することができるかどうかをみる (-5.6%)

8 大悟さんが住む地域にある新緑大学は、大学対抗駅伝大会に出場します。この駅伝大会では、コースを7区間に分け、1区から7区までをリレー形式で走ります。大悟さんは、新緑大学の6区の選手の応援に行きました。6区の道のりは12000mあり、6区のスタート地点では、晴天大学が先にスタートし、新緑大学がその100秒後にスタートしました。

大悟さんは、インターネットで6区の速報を見て、新緑大学が晴天大学に追いつきそうだと考え、その地点を予想することにしました。

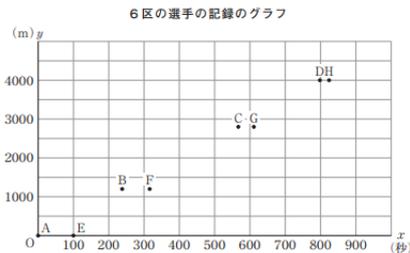


前ページの大悟さんがまとめた表の記録について、例えば、新緑大学の「316秒」は、晴天大学がスタート地点をスタートしてから316秒後に、新緑大学が図書館前を通過したことを表しています。

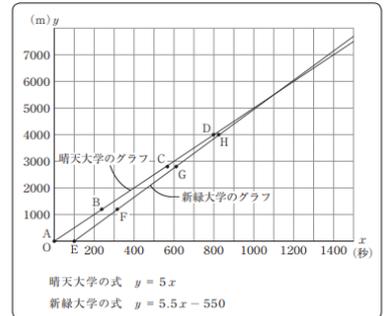
大悟さんは、晴天大学の6区の選手がスタートしてからの時間を x 秒、6区の選手が走った道のりを y mとし、前ページの大悟さんがまとめた表をもとに下のようなグラフに表しました。点Aから点Dが晴天大学、点Eから点Hが新緑大学を表しています。

(2) 大悟さんは、前ページの6区の選手の記録のグラフを見て、点Aから点Dまで、点Eから点Hまでの各点がそれぞれ直線上にあると考えることにしました。そこで、コンピュータを使って、次のような2つの直線に表したところ、それぞれの x と y の関係を表す式は、晴天大学が $y = 5x$ 、新緑大学が $y = 5.5x - 550$ と表されました。

順位	記録	大学
○	○分○秒	晴天大学
○	○分○秒	新緑大学



コンピュータを使って表された直線のグラフと式



そこで、大悟さんは、晴天大学と新緑大学の6区の各地点の記録を、晴天大学の6区の選手がスタートしたときを0秒として、下のような表にまとめました。

大悟さんがまとめた表

地点	スタート地点からの道のり	晴天大学	新緑大学
スタート地点	0 m	0 秒	100 秒
図書館前	1200 m	238 秒	316 秒
郵便局前	2800 m	567 秒	611 秒
駅前	4000 m	798 秒	824 秒

次の(1)から(3)までの各問いに答えなさい。

晴天大学のグラフと新緑大学のグラフがそれぞれ直線で表されていることは、二人の選手について、が一定であると考えたこととなります。

晴天大学のグラフと新緑大学のグラフがそれぞれ直線で表されていることは、二人の選手について、が一定であると考えたこととなります。

上のに当てはまる言葉として正しいものを、下のアからオまでの中から1つ選びなさい。

- ア それぞれの走る速さ
- イ それぞれの走る時間
- ウ それぞれの走る道のり
- エ 走る時間の差
- オ 走る道のりの差

△ 空間における平面が同一直線上にない3点で決定されることを理解しているかどうかをみる (-5.8%)

3 空間における平面が1つに決まる場合について正しく述べたものを、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。

- ア 1点をふくむ平面は1つに決まる。
- イ 2点をふくむ平面は1つに決まる。
- ウ 1つの直線上にある3点をふくむ平面は1つに決まる。
- エ 1つの直線上にない3点をふくむ平面は1つに決まる。

△ 与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができる (-7.3%)

8 大悟さんが住む地域にある新緑大学は、大学対抗駅伝大会に出場します。この駅伝大会では、コースを7区間に分け、1区から7区までをリレー形式で走ります。大悟さんは、新緑大学の6区の選手の応援に行きました。6区の道のりは12000mあり、6区のスタート地点は、晴天大学が先にスタートし、新緑大学がその100秒後にスタートしました。



前ページの大悟さんがまとめた表の記録について、例えば、新緑大学の「316秒」は、晴天大学がスタート地点をスタートしてから316秒後に、新緑大学が図書館前を通過したことを表しています。大悟さんは、晴天大学の6区の選手がスタートしてからの時間を y 秒、6区の選手が走った道のりを x mとし、前ページの大悟さんがまとめた表をもとに下のようなグラフに表しました。点Aから点Dが晴天大学、点Eから点Hが新緑大学を表しています。

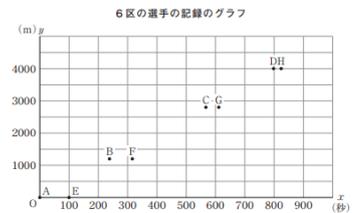
大悟さんは、インターネットで6区の速報を見て、新緑大学が晴天大学に追いつきそうだと考え、その地点を予想することになりました。

6区の速報(地点:駅前)		
順位	記録	大学
○	○分○秒	晴天大学
○	○分○秒	新緑大学



そこで、大悟さんは、晴天大学と新緑大学の6区の各地点の記録を、晴天大学の6区の選手がスタートしたときを0秒として、下のような表にまとめました。

大悟さんがまとめた表			
地点	スタート地点からの道のり	晴天大学	新緑大学
スタート地点	0 m	0 秒	100 秒
図書館前	1200 m	238 秒	316 秒
郵便局前	2800 m	567 秒	611 秒
駅前	4000 m	798 秒	824 秒



次の(1)から(3)までの各問いに答えなさい。

(1) 晴天大学が駅前を通過した時間と新緑大学が駅前を通過した時間の差は、上の6区の選手の記録のグラフに表された点Aから点Hのうち、2つの点の y 座標の差に表れます。点Aから点Hまでの中から、その2つの点を選んで書きなさい。

△ ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができる (-12.0%)

9 次の図1のように、 $CA = CB$ の二等辺三角形 ABC と、 $\triangle ABC = \triangle DEF$ となるような $\triangle DEF$ の2つの三角形を厚紙で作ります。

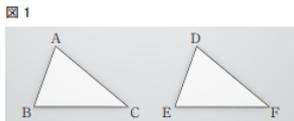
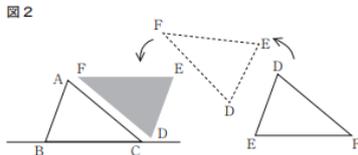


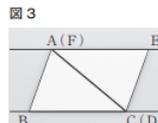
図1の2つの三角形の厚紙を使って、次の方法1と方法2でそれぞれ2つの直線をひきます。

方法1

◇ $\triangle ABC$ を置いて、直線 BC をひく。そして、図2のように、 $\triangle DEF$ を回して、点 F を点 A に、点 D を点 C に重ねる。

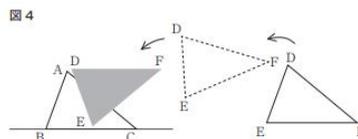


◇ 図3のように、点 A と点 F が重なった点を A として、直線 AE をひく。また、点 C と点 D が重なった点を C とする。

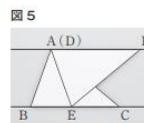


方法2

◇ $\triangle ABC$ を置いて、直線 BC をひく。そして、図4のように、 $\triangle DEF$ を回して、点 D を点 A に、点 E を直線 BC 上に置く。ただし、点 E は点 B と重ならないように置く。



◇ 図5のように、点 A と点 D が重なった点を A として、直線 AF をひく。



優奈さんは、方法1の直線 BC と直線 AE 、方法2の直線 BC と直線 AF がそれぞれ平行になるのではないかと考え、調べることにしました。

次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

(1) 優奈さんは、前ページの方法1の直線 BC と直線 AE が平行になるかどうかを調べるために、右の図6をかきました。図6の $\triangle ABC$ と $\triangle CEA$ は、それぞれ $CA = CB$ 、 $AC = AE$ は、それぞれ $\triangle ABC = \triangle CEA$ です。

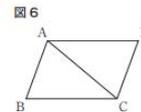


図6において、 $BC \parallel AE$ であることは、すでにわかっている $\triangle ABC = \triangle CEA$ をもとにして、同位角または錯角が等しいことを示すことで証明できます。 $BC \parallel AE$ であることを証明しなさい。

【その他、知識・技能に関わる問題】

- △ 数と整式の乗法の計算ができる (-5.5%)
- △ 累積度数の意味を理解している (-4.1%)
- △ 問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる (-3.5%)
- △ 条件を変えた場合に事柄が成り立たなくなった理由を、証明を振り返って読み取ることができる (-3.1%)

成果・課題の分析

- 知識・技能について、多くの問題が県平均を下回り、課題が見られます。基礎的な計算力などの知識・技能の習得を図る必要があります。また、課題についての原因として学習への意欲が低いこと（児童生徒質問紙結果 参照）が考えられます。この状況を改善するために、習得した知識・技能を活用した数学的思考を必要とする問題や生活と結びついた問題を意図的に出題することで、基礎的な知識・技能の必要性が感じられる授業づくりを進めていく必要があります。学ぶことの意味が感じられる授業づくりを目指すことで、学ぶ意欲の向上と知識・技能の向上を図ります。

また、基礎的な知識・技能の習得を図るため、AI型ドリル教材等を活用して、個々の理解度に応じた学習を進めます。AI型ドリル教材では、本人のつまづきに応じた解説が示され、苦手とする問題が繰り返し出題されるので、個人の理解に合わせた学習を自分のペースで進めることができます。

- R4年度に引き続き、図形の証明問題などの数学的思考を必要とする問題についても課題が見られます。授業の中で一人一人が問題の解き方をじっくりと考える時間を確保すると共に、友達と学び合う活動に時間をかける授業づくりを進めていきます。さらに学び合いの中で「答えをどのように求めたのか」「なぜそのように考えたのか」など自分の考えを説明する活動や「本当にその答えでよいのか」「もっと良い方法はないだろうか」など、自分の考えを振り返る活動を一層大切にして、数学的に思考する力やわかりやすく説明する表現力を高めていく必要があります。

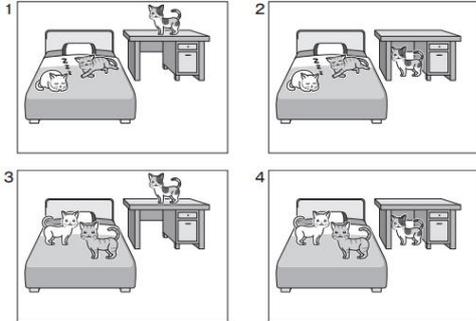
中学校
英語

◎ 情報を正確に聞き取ることができる (+3.1%)

1 (放送問題)

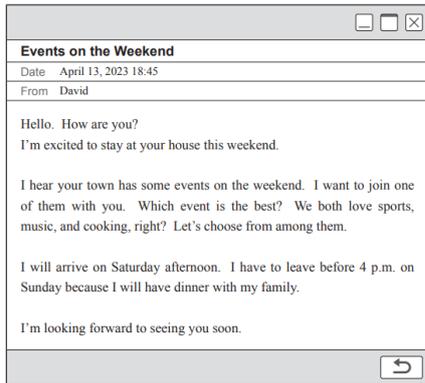
話される英語を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を、それぞれ1から4までの中から1つ選びなさい。

(1)



△ 日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる (-7.5%)

6 次の英文は、友達の子デビッド (David) があなたに送ったメールです。メールを読んで、デビッドにおすすめのイベントとして最も適切なものを、右の1から4までの中から1つ選びなさい。



1 Rugby Game

Let's watch together!

Date & Time: Saturday, April 15, 9:30 a.m. - 11:30 a.m.
Place: Midori Park

2 Flower Market

You can buy beautiful flowers!

Date & Time: Saturday, April 15, 9:00 a.m. - 4:00 p.m.
Place: Hikari Garden

3 City Orchestra

You can enjoy a wonderful performance!

Date & Time: Sunday, April 16, 1:00 p.m. - 3:00 p.m.
Place: Tsubomi Hall

4 "Cook & Eat"

Let's enjoy cooking and eating!

Date & Time: Sunday, April 16, 4:00 p.m. - 7:00 p.m.
Place: Cooking Room "Wakaba"

△ 「相手の行動を促す」という言語の働きを理解し、依頼する表現を正確に書くことができる (-9.7%)

(2) 次の英文は、ある生徒が文書作成ソフトを使って、スピーチコンテスト (speech contest) についてスミス先生 (Mr. Smith) 宛てに書いた【メール文の下書きの一部】です。送信する前に友達に相談したところ、友達から【コメント】をもらいました。【コメント】にしたがって、下線部を書き直さなさい。

【メール文の下書きの一部】

Dear Mr. Smith,

How are you?

We have a speech contest next Friday.
The speech contest starts at 10:00.
You have to come to the speech contest.

【コメント】

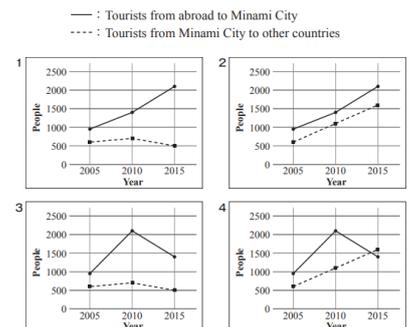
この英文は、依頼する表現に修正したほうがよいと思う。

△ 情報を正確に読み取ることができる (-9.7%)

5

(1) 次の英文を読んで、その内容を最も適切に表しているグラフを、下の1から4までの中から1つ選びなさい。

In 2005, about 1,000 tourists from abroad came to Minami City. During the next ten years, the number went up. Over 2,000 tourists came to Minami City in 2015. The number of tourists from Minami City to other countries didn't go up.



△ 未来表現 (be going to) の肯定文を正確に書くことができる (-11.4%)

9

(1) 次の①、②について、例を参考にしながら、必要があれば()内の語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、それぞれ会話が成り立つように英文を完成させなさい。

(例) <友達同士の会話>
A : I called you at eight last night.
B : Oh, sorry. I (do) my homework then.
[答え] was doing

① <先生と生徒の会話>

A : Do you have any plans for summer vacation?

B : Yes. I (visit) my uncle in London.
I can't wait!

A : Wow, that's nice!

② <友達同士の会話>

A : Oh, you have a new watch!

B : Yes, I got it yesterday.

A : (buy) the watch?

成果・課題の分析

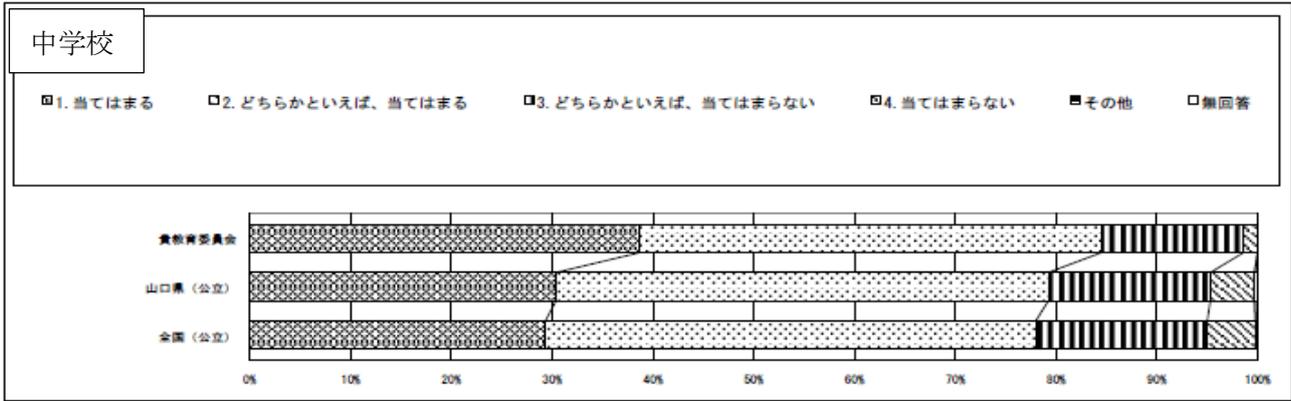
- 小学校からの外国語活動により、英語を聞き取る力がしっかりと身につけています。5名のALTによるネイティブな英語に多く触れ合える機会を引き続き大切にしていきたいと思えます。
- 英語での情報を正確に読み取り、整理することに課題があります。自分の考えを正しく表現する単語や文法の習得を行うとともに、課題解決学習の中で英語を活用するなど、授業の工夫が必要であると考えます。
- 日常会話の中でも、過去や未来について話す機会は多くありますので、会話の中で、伝えたいという意欲の基に、文法の習得を行い、それぞれの表現の違いを分析しながら活用力を身につけていく必要があると考えます。
- 令和元年度から小学校での外国語の授業が必修となりました。小学校3年から4年間の学びを中学校の学習に生かすために、小中で連携した授業づくりを一貫校として進めていきたいと思えます。

(2) 児童生徒質問紙調査の結果

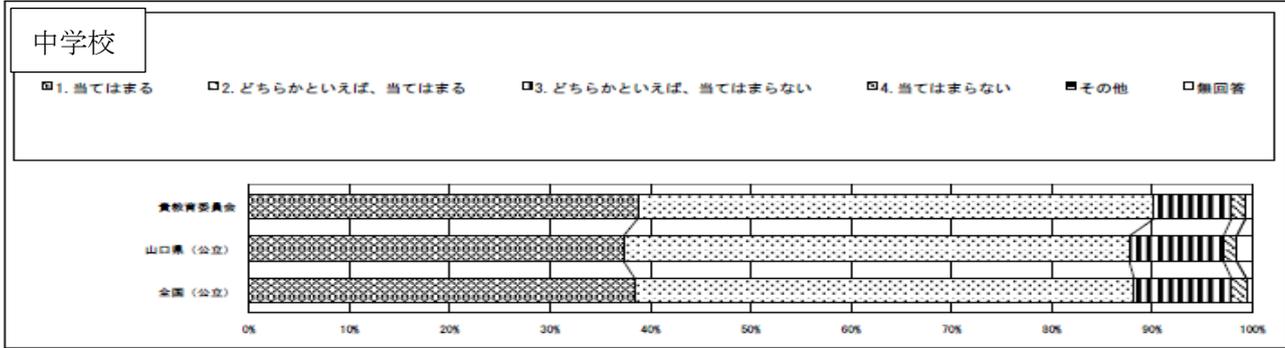
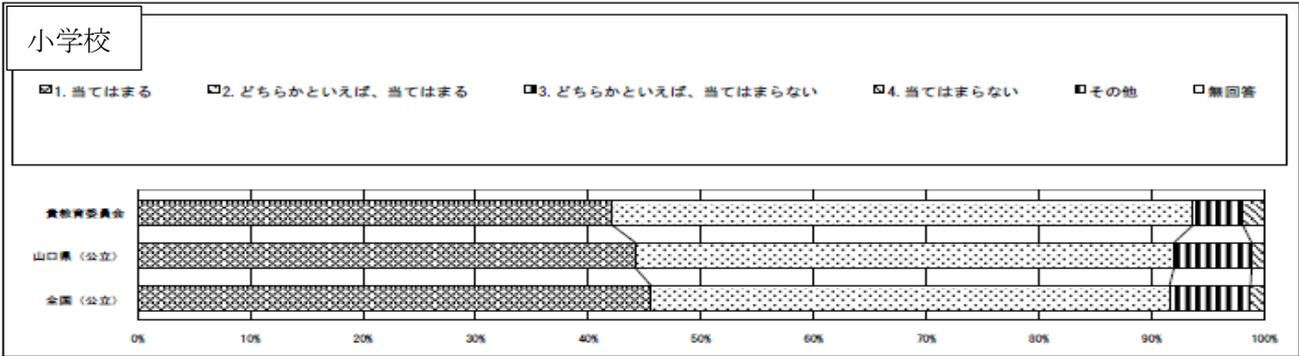
(()) は県平均との差、R4 と比較して改善傾向が見られる場合は▲、課題が大きくなった場合は▼)

望ましい状況

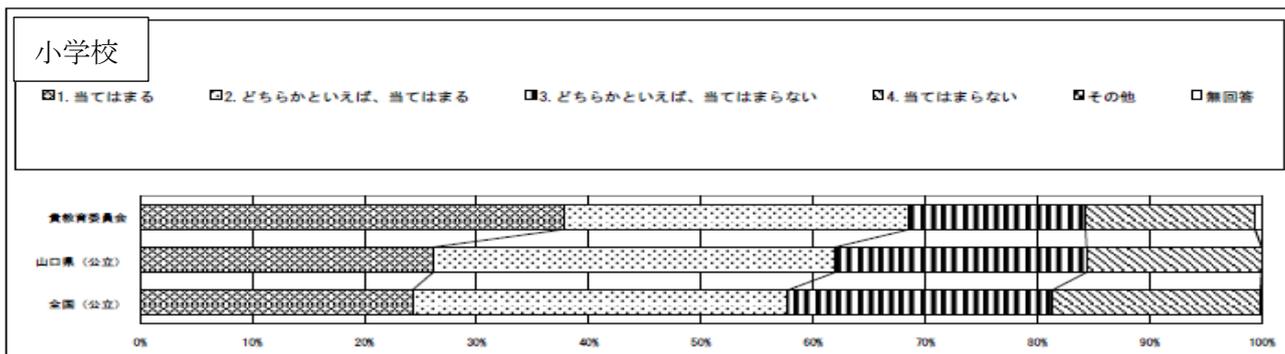
あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか (中+8.3%▲) 【R4…中+3.5%】



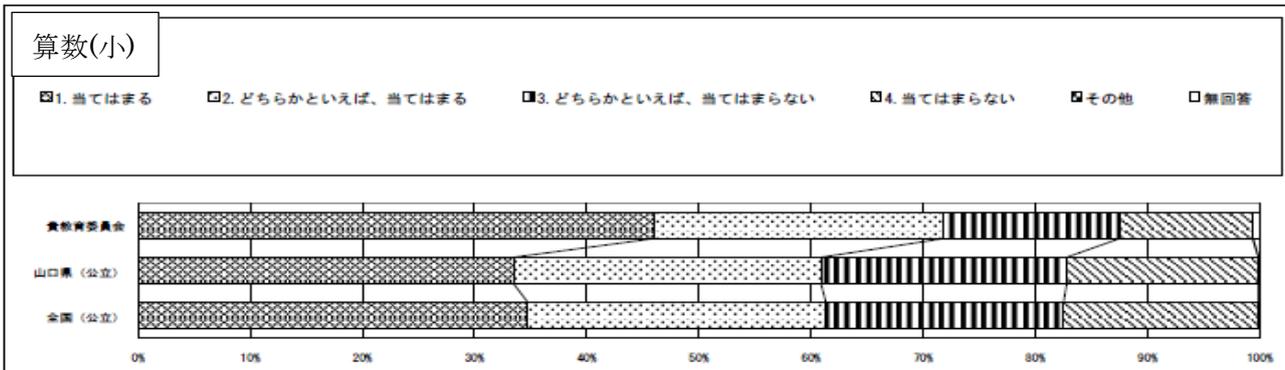
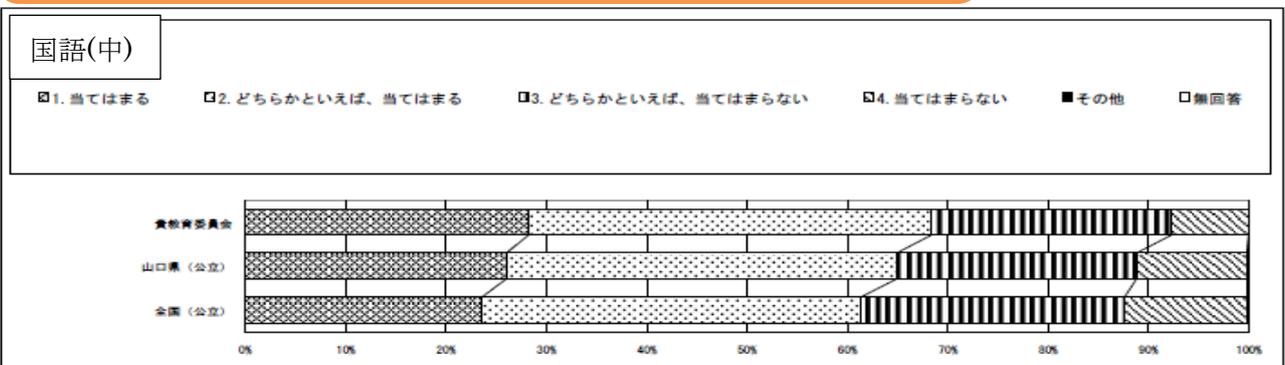
人が困っているときは、進んで助けていますか (小-2.1%▲、中+1.4%▲) 【R4…小-6.3%、中-1.6%】



今住んでいる地域の行事に参加していますか（小+11.6%↑）【R4…小+6.2%】

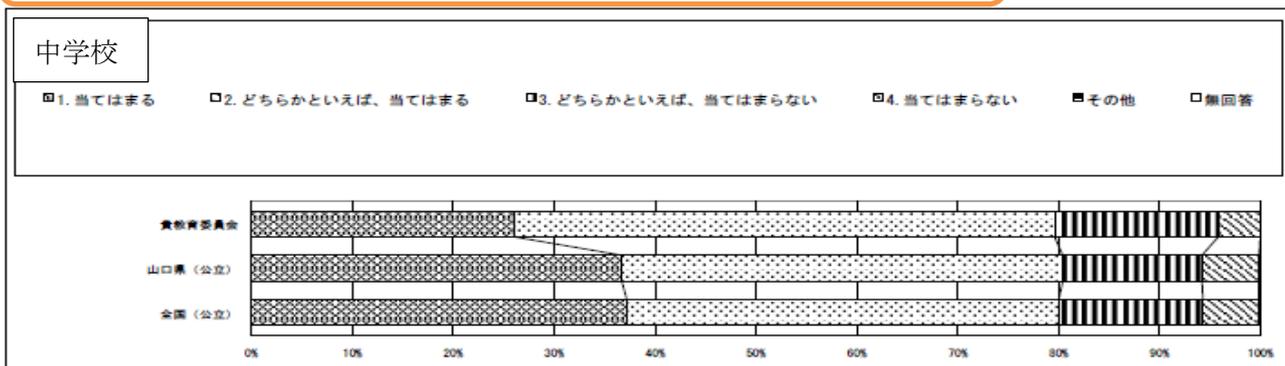


「国語の勉強は好きですか」（中+2.2%↑）【R4…中-9.7%】、
「算数の勉強は好きですか」（小+12.4%↑）【R4…小-1.2%】

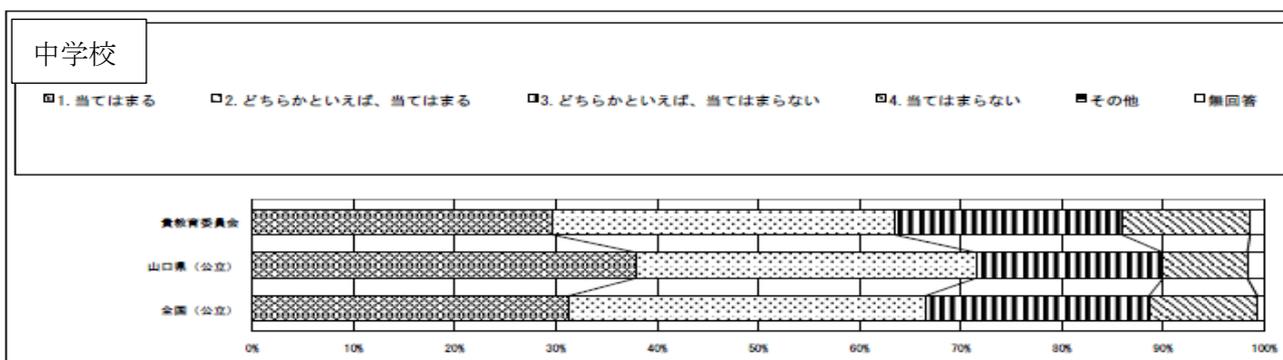
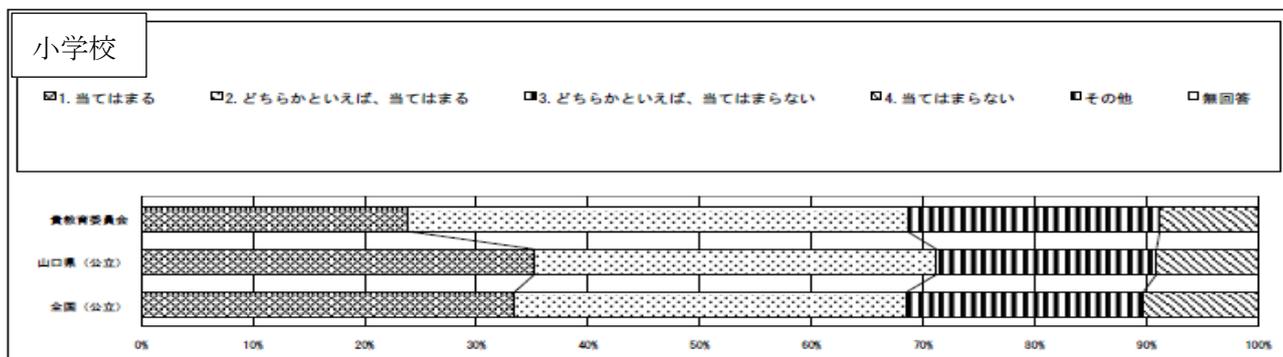


課題と見られる状況

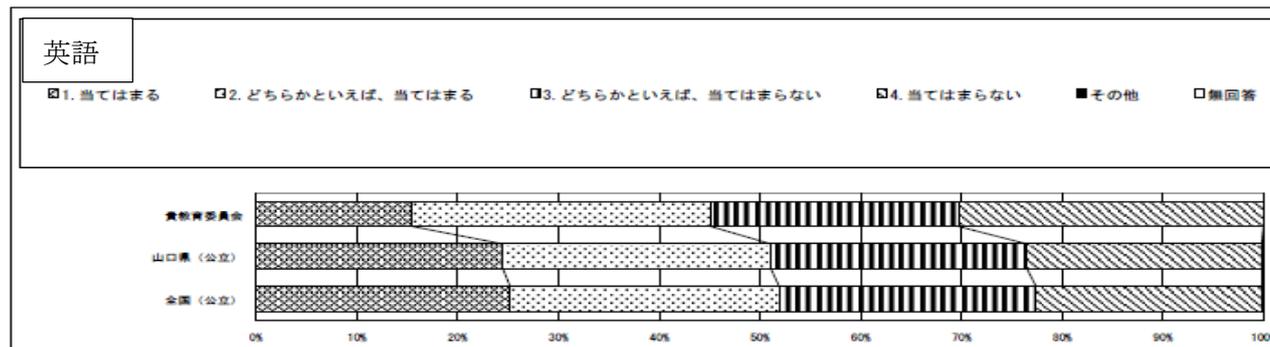
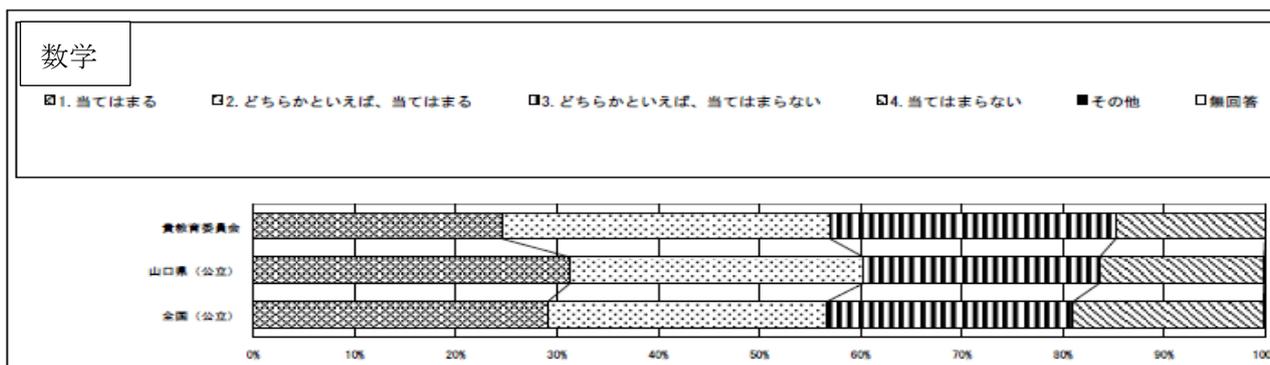
「自分によいところがある」（中-10.6%↓）【R4…中-4.9%】



困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか
 (小-11.3%↓、中-8.4%↓) 【R4…小-2.0%、中-3.9%】



「数学の勉強は好きですか」(中-6.7%↑) 【R3…中-14.3%】
 「英語の勉強は好きですか」(中-9.0%) 【R4…実施なし】



○ **自分への肯定的な気づきを促す他者と関わる学習の推進**

各学校で多くの子供たちがもっている地域貢献への意欲を生かして、生活科や総合的な学習の時間等に、地域の様々な人と関わり合いながら活動し、地域に貢献していく学習を行います。教室の中で完結する学びではなく、地域に学びの場を広げ、多くの人と関わり、認めていただくことで自己肯定感を高め、社会の中で生きて働く力を育成していきます。

○ **楽しく、学ぶ意欲が高まる授業づくり**

子供たちの授業に対する意欲は改善傾向にありますがまだまだ課題があります。市内小中学校の教員全体で「児童生徒が自ら学ぶわくわくする授業」を目指し、「子供と共につくる授業」「子供に任せる授業」を進めています。今後も、児童生徒一人一人が楽しく充実感を感じる授業になるように授業改善を進めます。

具体的には、昨年度から取り組んでいる「自由進度学習」と呼ばれる一人一人に合ったペースや方法で学びを進めていく授業づくりを行うことにより、自ら学習に取り組む楽しさを感じられるようにしていくとともに、提示する学習課題を工夫し、子供たち同士の対話を大切にしながら「自分たちの力で解けた」「分かった」と思える授業づくりを進めます。また、子どもが自分から「分からない」ことを聞くことができる主体性を育むとともに、子どもが安心して「分からない」ことを聞くことができる学びの場を作っていきます。

○ **関わり合う力を高め、個に応じた学びを充実させるための日常的なICTの活用**

タブレット端末で自分の考えや作品等をみんなで共有したり、それを基に話し合っ
て自分の考えを練り直したり、別の学校とオンラインでつないだ遠隔授業をしたりする等、日常的に、そして効果的にICTを活用しながら、子供たち同士が関わり合い学び合える授業を今後も推進していきます。また、AI型ドリル教材「Qubena（キュービナ）」を活用し、一人一人の理解度に応じた学習を行います。

これからの時代に必要なICTリテラシー等が身に付くよう、授業だけでなく様々な活動において、日常的にICTの活用を進めていきます。そして、ICTの適切な使い方や情報モラル等の指導も充実させていきます。

○ **小中一貫カリキュラムに基づく、小中9年間の連続した系統的な学び**

美祢市では昨年度から全中学校区で小中一貫教育がスタートしました。各中学校区では小中9年間で連続した系統的な学びを進めていくためのカリキュラムを作成しています。このカリキュラムをブラッシュアップすると共に、小中学校がこれまで以上に連携し、小中学校相互の教員による授業参観や子供たち同士の交流活動を通して、一人一人の学びを充実させることで学力向上を図っていきます。

家庭では

○ 自己肯定感を高める声掛け

自分のよさを知り自信を深めるために、家庭でも子供たちの姿によいところが見られたときには、温かな声掛けをお願いします。そうすることで子供たちの自己肯定感がさらに高まります。

○ 望ましい生活習慣の確立

望ましい生活習慣が、学習に対する意欲の向上や学習内容の定着、情緒の安定につながります。早寝・早起き・メディアコントロール等、自分で生活をコントロールできるよう力がつきますよう、今後もお子様への声かけをお願いします。また、昨年度から多くの学校で行っている「自由進度学習」により、子どもは自分に合った学び方で主体的に学ぶ習慣を身につけていっています。子どもが家庭でも進んで勉強できるよう、温かい声掛けをお願いします。

○ 様々な体験による学び

子供たちは授業で様々なことを学びます。その学習内容が実生活と結び付くことで学ぶ意味を理解し、学んだことが学力として定着します。社会での様々なことについて広く会話をしていただいたり、料理や買い物を一緒にしていただいたりと多くの体験をすることが大切です。

また、子どもの「地域の行事に参加したい」という意欲は向上傾向にあります。子どもが進んで地域に関わることができるように後押しをしていただくとともに、参加した際は、温かい声掛けをお願いします。

○ 学校との連携・情報共有

現在子供たちに求められている学力について、また、学校で行われている教育活動について、学校と情報を共有していただくことで、よりよい学びを一緒に進めていただきますようお願いいたします。

○ 「学校が楽しい」と思える授業づくりについての研修

子供たちが「わかった！おもしろい！と思える授業」や「ともに考え新たな発見が生まれる授業」が実践できるように、教育委員会と先生方とが一緒になって研修を進めています。特に、子どもが主体的な学ぶ授業づくり（「自由進度学習」）の成果として、子どもの学習意欲の向上や学力向上が見られます。子どもが自分で学びをマネジメントする力を育み、学校生活だけでなく、生涯を通して学ぶことができることを目標に更なる授業改善を進めていきます。

○ 自己肯定感が高まる地域連携

市教育委員会として、コミュニティ・スクールの仕組みを生かした家庭や地域と連携した取組を9年間の連続的で系統的な小中一貫の教育活動として推進していき、地域ぐるみで子供たちがよさを発揮できる場を増やしていきます。

また、子供たちによる探究学習の場を地域に広げ、課題について調べたり、学んだことを積極的に発信したりすることにより、学ぶことの楽しさを感じると共に思考力、表現力を身につけられるようにしていきます。

○ ICT を活用した教員による学校間連携

美祢市ではマイクロソフト社が提供しているコミュニケーションアプリ「Microsoft Teams」を活用して、子供だけではなく、教員同士の学校間連携も進めています。Teamsを通して、各学校の好事例を共有したり、学校間で具体的な取組についての連絡を取ったりしています。小規模校が多い美祢市にとって、学校間で連携を進めていく意義はとても大きいものです。今後もICTを活用し、学校間での教員による協働をさらに進めていきます。

○ 子供たちの社会的自立を目指す mineto 教育改革プロジェクト

（美祢市公設塾 mineto 他）

「子供たちの好奇心を引き出し挑戦する力を育む」ことを目的とした、中学生対象の学びの場として公設塾 mineto があります。そこでは、地域の方々をはじめ、多くの人と交わり合う学びを通して、一人一人が学習意欲を高めていくとともに、子供たちの好奇心や挑戦する心を引き出し、「自ら考え未来を生き抜く力」を身に付けられるよう支援していきます。また、SFC（慶応義塾大学 湘南藤沢キャンパス）学生との合宿や mineto 子どもキャンプの活動を通して、「自己決定・自己表現」ができる児童生徒の育成を進めています。mineto で学んだ子供が、その学びを各学校での活動に活かし、広めてくれることを期待しています。

これからも、美祢市の未来を担う子供たちが、よりよい教育環境の中でより充実した学びができるよう、学校・家庭・地域が一緒になった取組を推進していきます。